

笑顔を咲かせよう♪

# ちゅーりっぷ 通信

平成28年

5  
月号

いきいき暮らす。  
あの人に会いたい  
第17回

漫画家

## サトウサンペイさん

1929年(昭和4年)愛知県生まれ・大阪市育ち。旧制大阪府立生野中学、京都工業専門学校(現・京都工芸繊維大学)を卒業後、大丸(現・大丸松坂屋百貨店)に入社。宣伝部に勤める。1965年、朝日新聞に『フジ三太郎』を連載開始。1991年に終了するまで26年間の長期連載となった。著作に「フジ三太郎とサトウサンペイ」(電子書籍kindle版)、「サトウサンペイの「操体法」入門」(中央公論新社)など多数。1966年文藝春秋漫画賞、1997年紫綬褒章、2006年旭日小授章。

東京・国立市のご自宅にて

大丸宣伝部に在職から漫画家になられた。その才能はやはり天性のものでしょうか。

そうですね。ただ、小学生の頃から絵が好きだった。絵を描いてあちこちに出すといつも入選して、全国で特選になったりしていました。知事室に飾られたりしてね。将来絵描きになれたらいいなとなく思っていました。

ぼくは生まれが1929年の大恐慌の年だね。家は佐藤時計という明治の頃に祖父が興した時計メーカーで、掛け時計でシェアナンバーワンの会社だったんだよ。こないだテレビでドラマを見ていたら、関東大震災の場面があつてね。地震の瞬間、止まった時計がアップになるシーンがあつて、その時計が佐藤時計だった。とにかく世界恐慌の影響をなにか受けたのでしょよね。名古屋から大阪に移ったんだ。それはぼくが2歳くらいの頃で、ほとんど記憶もない。

小学校に入った年は昭和11年で、二二六事件があつた年なんだ。翌年は日中戦争が始まる。小学校を卒業する直前の12月8日には太平洋戦争が始まるわけ。だから、大恐慌と戦争の子なんだな。

府立中学に入っても白線入りの黒い帽子と服を着ていられたのは最初の1年間だけで、あとはカーキ色の戦闘服なんだ。畑を耕してイモを作ったり、貯水池を



掘ったり、軍需工場で高射砲の弾を作ったり。そんな青春だったなあ。ぼくは高射砲の弾の先端につける信管を作っていたんだけど、これは高度に合わせ爆発するゲーシなんだがマキシмумが6千メートルで、アメリカのB-29爆撃機は高度1万メートルを飛んでくるので、届きはしない。

### 大丸に入社するときの履歴書は漫画で描いたという伝説がありますね。

それは本当ですけど(笑)、ま、その前があったね。当時の履歴書というのは筆で書かないといけなかったんですけど、ぼくは書き文字がヘタ、書道がダメなんだ。それで最初は筆のうまい友だちに履歴書を書いてもらって、それを学校の先輩である大丸の宣伝課長のところに持っていったんです。



月刊誌「笑顔」の裏表紙から。これが10数年も前に描かれた漫画とは思えないほどだ。  
©サトウサンペイ

### 長年連載された「フジ三太郎」は朝日新聞を社会面から開かせるといわれた傑作でした。

名「フジ三太郎」といわれた深代惇郎さんが天声人語を書いていた頃ですけど、ぼくはそうやって読まれている現場を見たことがあります。お昼にうなぎ屋に入りましてね。おかみさんが半畳くらいの帳場に座っていて、朝、来たままの朝日新聞を取り上げてね、まず一面の天声人語を読んでもんだ。それから二つするのかなと見ていたら、後ろを開いて漫画を読んでくれた。「フジ三太郎」が社会面から開かせるとは聞いてはいたけど、初めて見たんだ。ありがたいことですよ。

こないだテレビを見ていたら、アメリカの新聞社「ニューヨークタイムズ」のジャネット・ロビンソンという前女性社長が「我が社では間違いなく連載漫画の面白いとき、部数が伸びた」とかいいてね。いや、自慢話みたいなことをいわないほうがいいんだけど、我が意を得たり(笑)ですよ。

### 惜しまれて止めた連載漫画。また続きを描くといいんじゃないの？

そうですね。ぼくが漫画の連載をやめたのは62歳だったんです。じぶんの中ではもう少しは続けられるという感覚があった。だけど、やっぱりマンネリ化しててね。(サザエさんを描いていた)長谷川町子さんは偉い人で、彼女は59歳でやめた。漫画界の天皇といわれた横山隆一さんもやっぱり60歳でやめている。

雑誌の週刊朝日を100万部に押しあげた名編集長の扇谷正造という人がいて、彼は東大出で

よし、任せておけ、とその人が背広の内ポケットに預かってくれたはいいけど、いつまで経ってもなんの連絡もない。しびれを切らして一緒に大丸を受けた友だちに聞いたら、もう試験もすんだという。あわてて、また宣伝課長のところに行ったら、ぼくの顔見るなり課長はアツという。聞くと、あの晩、酔っ払って、雨に濡れた背広をそのまま洗濯に出して履歴書をなくしたというわけです。がっかりしてね。もういいですって帰るつもりしたら、その課長が人事部にぼくを連れていって事情を説明してくれた。そしたら、もう一回書類を出してくださいというところになった。

ところが、そのときには連筆の友だちがいなくてね。で、手近の画用紙に鉛筆と絵の具で、じぶんがたらいでオギヤーと生まれた様子を描いたり、初恋の人を4、5人描いたり(笑)、学徒勤労動員の様子を描いたりして、画用紙8枚くらいにまとめたんだ。朝までかかったけど、喜んで描いたね。それを学校からの書類と一緒に大丸に持っていったら、今日すぐに試験をやるという。驚きましたよ。だって、もう一度書類を出せといつても、口先だけのことで、ほんとに入れてくれるはずはないと思ってたから。だから、こんな絵にして履歴書をまとめたわけだね。でも、それが通っちゃって大丸に入社することになった。

### サトウサンペイという名前はペンネームだと思いますが、その由来は？

岡本一平という有名な漫画家がいまですけど、そのレベルまではいかないだろうから、まあ三平から英語がすごく得意だった人だけど、朝日新聞社の入社面接で、君、英語ができるそうだが、ジャーナリズムの反義語を答えたまえといわれて返答に窮したんだそうです。ジャーナリズムの反義語、なんだと思います？マンネリズムなんです。ぼくは、そのことを当の扇谷さんに聞いてハッとしたんだ。な。ぼくはジャーナリズムそのものじゃないけど、世の中をやはりジャーナリストィックに見ているところがあって、それを漫画という形で描いているわけです。

たとえばイギリス人が得意だといわれているユーモアね。それからフランス人の得意なウィット。これは機知ですね。さらに、もうひとつカラカライの精神、風刺。このユーモアと機知と風刺という三つが漫画にとって本質的なものとぼくは思っているんですけど、出来不出来は別に、連載を通じて、その三つを基にした漫画をずっと描いてきたという思いがあって、もういいかなと。そういう気持ちですね。

連載しているときは、ノートをとってヒントになるものをたくさん描いていました。アイデアとヒントというところ、どちらがむずかしいかといえれば、みんなアイデアというかもしれない。ヒントなんて思いつきだと思っでしようけど。でも、ヒントは観察による発見だから、発見の方がむずかしいものなんです。日頃からよく観察しておく。観察しておかないとヒントなんて出ないんです。ぼくがよくミニスカートをばかり観察しているのも(笑)、まあヒントを得たいがためであってね。いまでも外に出かけたとき、そんな目で物事を見ることもありますが、最近はいらない、フジ三太郎'になって

いにしておこうかと。佐藤は本名ですけど、字画が多いでしよう。新聞の漫画だから、毎日字画の多い名前を書くのはかなわんなあと(笑)大丸に入ってから2年目で、社規には兼業を禁ずとか書いてありますし、会社にばれるとよくないと思って、それで力タカナで「サトウサンペイ」にしたんです。ところが、初めてじぶんの描いた漫画がタ刊で出るとき、うれしくてね。大丸のすぐ下にはタ刊売り場があるんだけど、まだタ刊が来てないので何度も降りて見にいってさ。出たら、さっそく10部くらい買いでみんなで配って。いったい、どこが内緒なんだか(笑)

漫画を連載したのは新大阪新聞社といましてね。履歴書を漫画で描いたやつがいるというのを知られ、連載を頼まれたのです。最初ぼくは描けないと断ったんです。なにしろ勢いのある新聞社で、荻原賢次とか横山泰三とか<sup>※1</sup>才能のある漫画家が面白い漫画を描いていたし、そこに今度は大丸の新入社員ですよ。

モジモジしていたら、この新聞社の小谷正二<sup>※2</sup>編集局長が、ぼくの耳元で「ちよっとくらい、はったりかませ」といふんです。驚きましたね。小谷という人は企画マンとして有名な人で、電通の中興の祖といわれる吉田社長が三顧の礼で迎えたような人なんですけど、インテリやくざというあだ名があった。その人が耳元でそういうものですから、そつか、はったりをかますのも必要なのかと思ひ、描いたんです。それで連載が始まりました。

しまいましたよ(笑)

昔から酒は好きでよく飲んでいたんですが、最近はいぶんでカクテルを作ることに凝ってます。ぼくの作るマンハッタンはうまいんだよ。ちゃんとカクテル教室に通ってシェイカーの振り方も習得してるしね。マティーニに関しては、駅前のバーの主人の方がうまいけどね。また会う機会があれば、今度はお酒でも飲みましょう。



※1 荻原賢次(1921年〜1990年)、横山泰三(1917年〜2007年)は加藤芳郎とともに、戦後派三羽ガラスといわれた漫画家。

荻原は戦後「日本意外史」などで人気を集め、横山は朝日新聞に連載した「マ風刺漫画」社会戯評」で著名。

※2 小谷正二(1912年〜1992年)大阪毎日新聞社から子会社の新大阪新聞社に出向し、数々のイベントを仕掛けた伝説的なプロデューサー。のちに電通に移籍しラジオ・テレビ局長を務める。井上靖の小説「闘牛」のモデルとされた。

遠い思い出、  
なつかしい  
歌



「春の小川」

どなたにも幼い日に遊んだ春の小川の思い出があるのではないのでしょうか。この歌は、そんななつかしい記憶をふっと思いださせてくれるようですよ。

作詞 高野辰之

作曲 岡野貞一

春の小川は さらさら行くよ  
岸のすみれや れんげの花に

すがたやさしく 色うつくしく

咲いてるねと ささやきながら

春の小川は さらさら行くよ

えびやめだかや 小ぶなのむれに

今日も一日ひなたでおよぎ

遊べ遊べと ささやきながら



歌のこぼれ話

「春の小川」の歌詞は、実は3つのタイプが存在します。1912年(大正元年)に発表された文語体によるオリジナル版と、1942年(昭和17年)に林柳波によって口語体に変えられたもの。さらに1947年(昭和22年)の歌詞のもの3つです。ここでは、2番目にあたる1942年版のものを採録しました。誰もが知っている歌でも、世代によって覚えている歌詞が違うというのは面白いですね。

JASRAC 出1615918-483

すこやか生活  
ワンポイント  
レッスン



カラオケで元気になる！

大きな声をお腹から出して歌うと、カラオケは一曲で1000メートル走ると同じ運動量になるといわれています。ストレッチも発散できて、二石二鳥にもなるカラオケを楽しんでみませんか。

カラオケが好きという方は多い  
でしょう。でも、苦手とか嫌い  
という方もいらっしゃるに違いあり  
ません。けれど、そんなアンチ・カラ  
オケ派のみならずも、カラオケがと  
ても健康にいいと聞くと、少しやる  
気が出るのではないのでしょうか。

カラオケで歌うとストレッチ解消に  
なることはよく知られています。こ  
れは幸せホルモンといわれています  
エンドルフィンやドーパミンが分泌  
されるため。しかも、カラオケの効  
用はそれだけではありません。お腹  
に力をいれて歌うことで自然と腹  
式呼吸になり、腹筋が鍛えられ、実  
は腰痛の緩和にもつながることが  
わかっています。さらに大  
きな声で歌うことで横隔膜が刺激  
され、体全体をおだやかにリラック  
スさせ、心地よい疲れをもたらすと  
いわれています。

またカラオケの歌詞にある感情  
を刺激するさまざまな言葉、「好き」  
とか「悲しい」といった単語が気持ち  
を揺さぶり、感情ばかりでなく脳も  
活性化してくれるのです。



カラオケというと、集団で過す  
からイヤだという方もいらっしゃる  
ことでしょう。でも、安心してくだ  
さい。いまでは昼間から一人でカラ  
オケ個室を利用することもあたり  
まえになり、さまざまなカラオケ店  
では、こうした一人カラオケ用の個  
室やおトクなプランをたくさん用  
意しています。思い立ったら吉日。  
カラオケの嫌いなあなたも、今度  
は一人で、また、なかよしのお友だ  
ちを誘ってカラオケを楽しんでみ  
ませんか。

介護と  
暮らしの  
アイデア箱



おしゃれを楽しもう！③  
帽子を極める！その1

今回のテーマは帽子。寒さや紫外線、そして万が一の転倒時にも頭を守ってくれます。オシャレも取り入れて、お出かけをもっと楽しみましょう！

帽子は選ぶのが難しい！似合わない！と思ってしまうませんか？

帽子は選び方さえわかれば、とっても簡単なオシャレアイテムになります。帽子選びで押さえておきたいポイント、今回は「顔の形」篇です。

① 顔の形に合わせた選び方

● 丸顔の方へのオススメ

頭部が四角い帽子はかえって丸顔が強調されるので丸い帽子を選びましょう。少し浅めにかぶったり、思い切っておでこを出してみると顔と帽子のバランスがうまく取れてスッキリ



リした印象に。ボーラーハットなどがオススメです。

● 面長の方へのオススメ

細長いものや頭部が高いものは避けて、あまり高さのないフラットなデザインのものを選びましょう。コサージュやポンポンなど飾りがあると悪目立ちしてしまいますので、シンプルなハンチングやキャスケットがベストです。

■ 四角顔の方へのオススメ

頭部は低めで大きなツバがある帽子がピッタリです。アクセサリーのポリュウムがあるものや個性的な柄やアクセントがある方がよく似合います。中折れ帽やカンカン帽などにもチャレンジしてみてください。

▼ 三角顔の方へのオススメ

ツバが狭くて深めにかぶるタイプを選びましょう。頭部が丸いものや先が細くなるようなシルエットのものだとスタイリッシュ度がぐんとアップ！ベースボールキャップやキャスケットなどをしっかりと深めにかぶるのがコツです。

■ ベース顔の方へのオススメ

ツバの大きくポリュウム感のある帽子を選び、顔のシルエットがキレイになります。中折れ帽やポークパイハットと呼ばれる頭部が平らで比較的浅い帽子だと顔全体のバランスをしっかりと取ってくれます。

今月のクイズ



昭和の思い出、懐かしい日々

昔なつかし、名前を呼んで！

便利な世の中になるにつれて形を変えたもの、姿を見なくなったものがたくさんあります。

「あーこれなんて言ったっけ？」「昔はこんな姿だった！」「懐かしい昭和の暮らしの道具。あなたはいくつ思い出せますか？」



わたぬき  
答えは裏表紙をご覧ください。(クイズ監修:四月朔日ユイ)

## 編集後記

●漫画家のサトウサンペイさんは、明るくて、茶目つ気たっぷり。取材の間、ずっとスタッフのわたしたちの気をそらさない魅力的な方でした。学徒勤労動員に明け暮れた少年時代のことなど、これまであまり語ってこられなかったはずのお話もお聞かせいただき、興味津々。美しい奥さまからはお茶に和菓子までいただき、カメラマンともどもすっかり長居してしまいました。予定していた時間を二倍以上超えてしまったロングインタビュー。戦争中の体験など、とても紙面に書ききれなかったのが残念ですが、そのエッセンスだけはお伝えすることができたかと思えます。

## お客様の声

平成28年3月号の感想

●お寺が小手指なのでお彼岸のお墓参りのときに「B宝館」に連れて行ってもらうことになりました。息子が「グリコのおもちゃ図鑑」持つてくること、今回の「ちゅーりっぷ通信」に森永さんが登場したことでわかりました。随分息子も集めていましたが、本まで持つていたとは。本棚に経済の本は見かけませんが…。(緑区N様)

●森永卓郎さんの「お金がなくても楽しいことは人生にはいっぱいある」には励まされます。ケアプラザにはいろいろなプログラムがあつて通うのが楽しみです。大きなお風呂においしいお昼、歌ありゲームあり、居眠りしている暇はありません。お金がなくても楽しいデイサービス！(西区Y様)

●マフラーの巻き方とても参考になりました。いつもいつもぐるぐる巻くだけでしたが、わたしにとつては知恵の輪のようで毎回鏡の前で①から④までを声に出しながらやっています。嫁は「おばあちゃんが大声で唱えてるんで、もう覚えちゃった」と自慢しています。レッスン代はずんでもらわないといけませんね。(南区K様)

●「おしゃれを楽しむ」が楽しみです。いいシリーズが始まりました。(泉区K様)

## クイズの答え

- |               |           |           |
|---------------|-----------|-----------|
| ① 衣紋掛け        | ② 蠅帳      | ③ シベリア    |
| ④ 火熨斗         | ⑤ 豆炭あんか   | ⑥ 足踏みミシン  |
| ⑦ おはじき        | ⑧ おてだま    | ⑨ エジソンバンド |
| ⑩ 冷蔵庫         | ⑪ だるまストーブ | ⑫ 白金懐炉    |
| ⑬ 水枕          | ⑭ 洗濯板     | ⑮ ソノシート   |
| ⑯ 日光カメラ(日光写真) |           |           |

## 皆さまからのお便りをお待ちしています。

編集部では、ご意見、ご感想、とりあげて欲しいテーマなど皆さまからのお便りをお待ちしています。お便りをくださった方の中から、**抽選で5名様に薄型ルーペをプレゼント**いたします。ふるってご応募ください。

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス4階  
横浜市福祉サービス協会「ちゅーりっぷ通信」編集部



## 今月の協会ニュース

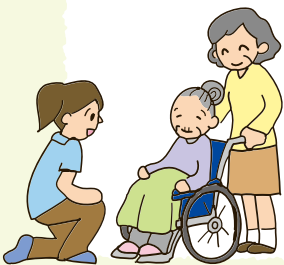
平成28年4月1日、ケアプランを作成する事業所として「ケアマネステーション片倉」が神奈川区片倉にオープンしました。「ケアマネステーション片倉」は神奈川介護事務所所に統合しました。また、南区清水ケ丘にある「清水ケ丘地域ケアプラザ」の運営を開始しました。10月には相鉄線いずみ野駅前に「いずみ野地域ケアプラザ」が入るビルが新築完成の予定で、地域の福祉総合相談窓口(地域包括支援センター)および地域に開かれた交流・活動の拠点として運営開始の運びとなります。

### ● ケアマネステーション片倉

〒221-0865  
横浜市神奈川区片倉4-14-22  
シャングレン片倉1階  
TEL 045-481-3596

### ● 清水ケ丘地域ケアプラザ

〒232-0007  
横浜市南区清水ケ丘49  
TEL 045-253-0071



## 介護者のための相談電話

### 介護に疲れたとき…ほっとライン

介護に疲れて行き詰まったり、不安になったりしたとき、ひとりで悩まないで、ほっとひと息ついてみませんか？

☎045-450-3194

## 「お客様相談室」をご利用ください

「お客様相談室」では、事業やサービスについてのご意見やご要望をお受けしています。まずはお気軽にお電話ください。

☎0120-701-782 FAX 045-450-3158

※受付は年末年始および祝祭日を除く月曜～金曜の8:45～12:00 / 13:00～17:15まで。ご相談の秘密は厳守いたします。

## 協会の理念

- お客様の満足
- 人を大切にし共に育ちあう企業風土
- 公正で透明感のある企業倫理

## 社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会

〒221-0055 神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス4階

☎045-450-3110 FAX 045-450-3115

ホームページ <http://www.hama-wel.or.jp/>



古紙・ハルパ配合率80%再生紙を使用